



Memories of summer

中学校長 小松 正明

2000年4月～2003年3月まで、ベルギーの首都ブリュッセルにある日本人学校に勤務していました。ご存じの通り、ベルギーは小国で、オランダ・フランス・ドイツ・ルクセンブルグと国境を接しています。小国ではありますが、EU本部があるため、世界各国から様々な人々が働きにきています。日本からはベルギー国に対しての大使の他に、EU大使もいらっしゃいました。

さて、ベルギーの夏ですが、これがまた不可思議な気候が続きます。夏といっても緯度が高いため（樺太とほぼ同じ）、いつもは過ごしやすい気温が続きます。ところがある年、6月の下旬に30度を超す猛暑が5日間続きました。「おっ、日本の夏と同じだ」と思い、早速オステンドの海に行き、夏を満喫。「ベルギーもこのまま暑い日が続くのかな」と思っていたら、7月の独立記念日はベンチコートを着て式典を見学することに…。「夏から一気に真冬へ」と思っていると、2日後にはまた30度の夏が1週間くらい続く……という、何とも落ち着かない気候でした。そして、30度を超す暑い日には何故か車の追突事故が増えました。本来、夏でも過ごしやすい気温ですから、エアコン（クーラー）がついていない車が多かったのだと思います。きっと暑くてイライラするのでしょうか。今は違うでしょうが……。

また、ベルギーでは、夏の日没が夜の11時頃になります。そのため、国中の時計を1時間進めるサマータイムが導入されています（冬時間の午前6時は午前7時になります）。それでも、午後11時まで明るいというのは、日本人には馴染めない感覚です。サマータイムになる日をすっかり忘れてしまうと、学校に遅刻してしまいます……。

夏休みに入る前に、生徒を連れてサマーキャンプ（日本で言う林間学校）に行くのですが、日本の宿泊学習で必ず守らなくてはならない「10時00分消灯」というようなことはできません（10時では明るすぎて寝ることができないのです）。それでは消灯時間は何時かという話になりますが、答えはただ一つ「暗くなったら寝なさい」です。

「ところ変わればなんとやら……。」 **様々な経験や体験は必ず役に立ちます。**

<数学がわかるとこんな楽しいこともできます>

自分の好きな数字を思い浮かべてください。

その数に1をたしてください。

1をたした数に2をかけてください。

次に2をかけた数に6をたしてください。

6をたした数を2でわってください。

2でわった数から、最初に思い浮かべた数をひいてください。

【答えは4になります】

例

(7)

$$7 + 1 = 8$$

$$8 \times 2 = 16$$

$$16 + 6 = 22$$

$$22 \div 2 = 11$$

$$11 - 7 = 4$$

【7月の主な行事予定】

1日	木		16日	金	終業式・クリーン作戦
2日	金		17日	土	夏期講習（4時間）全校生徒
3日	土	第2回考査	18日	日	第2回学校説明会・授業体験会
4日	日		19日	月	夏期講習（4時間）全校生徒
5日	月	↓	20日	火	
6日	火	生徒臨時休業	21日	水	
7日	水	授業4h・再指導（午後）	22日	木	海の日
8日	木	再考査（放課後）	23日	金	スポーツの日（オリンピック開会式）
9日	金	↓	24日	土	
10日	土	休業土曜日	25日	日	
11日	日		26日	月	
12日	月	授業3h 個人面談	27日	火	
13日	火	中学校会議	28日	水	
14日	水	成績会議・職員会議	29日	木	
15日	木	↓	30日	金	
			31日	土	↓



理科フィールドワーク 長瀬



旧新井家住宅と長瀬町郷土資料館



生徒総会



能楽鑑賞 事前指導



議案書はiPadに配信